

「評価結果の概要」

センターが把握している圏域の特徴

【圏域の人口等】平成28年(2016年)10月1日現在

総人口 44,353 人 / 高齢者人口 14,956人 / 高齢化率 33.72 %

【圏域の特徴】

豊中市の南に位置し、大阪中心部からも近いため、昭和30年代に人口が急増し、木造アパートや文化住宅が多く建てられた地域です。そのため、現在は単身者向けの古い住宅が庄内駅周辺を中心に数多く残っており、高齢者独居世帯率が24.8%と非常に高く、市内7圏域のうち唯一20%を超えています。低家賃の住宅が多いため、生活保護受給者の方も多地域です。このような特性から経済的困窮、認知症、精神疾患、高齢者虐待といった問題が複合して発生しており、相談件数も年々増加しています。

センターの取組方針や特徴

「まず現場に足を運ぶ」こと取組方針として、どんな相談であってもまず現場に足を運び、相談者に耳を傾け、自分の目で確認してアセスメント、対応することを心掛けています。

虐待事例や支援困難事例については複数の職員で対応することで早期の課題解決を目指しています。

高齢者やそのご家族、地域住民・関係者に対して、不安や混乱を与えないように分かりやすい説明と誠実な対応を行っています。

特に、在宅医療の推進と多職種連携の地盤づくりである「ほっとライン庄内」、介護支援専門員の資質向上とネットワークづくりを目的に行っている「庄内ケアマネット」、高齢者の居場所づくりとして「ぐるっと庄西・島田」に力を注いで取り組んでいます。

総評

「ほっとライン庄内」、「庄内ケアマネット」、「ぐるっと庄西・島田」の活動を通じて地域づくりに取り組んでいます。高齢部会の開催や企画シートの作成等、地域との連携に対する取組、地域住民への周知や職員の研修体制の取組等が求められます。

好事例

○地域との連携について、なんでも相談に頻回に参加し、現場に足を運ぶという方針のもとに、顔の見える関係づくりに取り組んでいます。

○認知症高齢者に対する支援について、大規模な認知症サポーター養成講座を実施するなど、認知症に対する支援に積極的に取り組んでいます。